

価値の流れや機能で比較した場合の自社と他社の強み・弱みを知る

概要

バリューチェーン分析とは、原材料を調達してから製品・サービスが顧客に届くまでに企業が行う活動の連鎖（チェーン）を、モノの連鎖（サプライチェーン）だけではなく、価値の連鎖（バリューチェーン）として捉えたものを指します。バリューチェーン分析は、自社や競合がどの工程で高い付加価値を創出し、どの工程に問題があるのかを明確にし、自社の強み・弱みや優位性を分析するものです。

実践するうえでのコツ

典型的なバリューチェーンで、まずは自社・競合との比較を考えた上で、自社・業界固有の活動特性をふまえてバリューチェーン自体をカスタマイズして使うこともあります。

分析の生かし方

- ◇ 自社の経営／事業戦略を検討する
- ◇ 競合の経営／事業戦略を分析する
- ◇ 自社の事業／機能別戦略を検討する
- ◇ 競合の事業／機能別戦略を分析する

バリューチェーン分析（付加価値活動の分析）

製品が顧客に到達するまでの流れに直接関係する活動。活動の連鎖（チェーン）は、自社固有の活動を加えてカスタムしましょう。まずは、この把握が重要です。

主活動

主活動を支える企業活動
を記載します。

支援活動

関連する
組織能力

主活動の各項目における自社の強みを書き出しましょう。どの活動で競合優位性、劣性があるかを確認します。

自社

競合

主活動の各項目における競合の強みを書き出します。競合がどの部分に優位性を持っているかを検討しましょう。